

本当に自分の好きなことができる。



株式会社積進

奥野 由希 さん (25歳・網野町)

私

は大阪の大学を卒業後、すぐに帰郷し、装置や部品加工を行う株式会社積進に入社しました。会社では営業課員として主に納期の調整や見積書の作成、そのほかにもインターンシップを含めた工場見学の対応などを担当しています。スピードと正確性が求められる仕事で、難しい面もありますが、先輩方にアドバイスをいただきながら、日々勉強しています。

Uターンを決意したのは大学4回生の時。大阪での就職を考えていましたが、地元に戻って来て海に行ったり、秋祭りに参加したりしているうちに、故郷への思いが強くなりました。せっかくなので自然



仕事では社内の各部署を回り、納期の調整などを行っている

を満喫したいと思い、1年前にサーフィンを始めました。うまく波に乗れたときの爽快感が忘れられず、今ではすっかり虜に。地元や都市部のサーファーの方々と交流するのも楽しいですし、早起きするので健康的になるのも魅力ですね。

都会にいた頃は

流行に敏感で、自分

も周りも何となく時代に遅れないようにしていました。それはそれで楽しかったのですが、京丹後では、本当に自分の好きなことを楽しんでいる人が多いような気がします。私も今は、流行よりも「波」の方が気になりますね(笑)。

サーフィンで豊かな自然を満喫している奥野さん

設計事務所開業の夢を実現。

長

男ということもあり専門学校卒業後に帰郷。市内の建設会社や設計事務所働いた後、昨年夏に夢だった自分の設計事務所を開業しました。

開業する前には、憧れの建築士である「SAN計画」の佐竹さん(丹後町)、世界的に有名な「象設計集団」(北海道)、地元の大手設計事務所「株式会社東亜設計」(峰山町)で設計のノウハウを学びました。

弟子時代は食うに食えない時期があり、牧場、居酒屋、バーなど、バイトで生計を立てながら修行する日々は大変でしたが、今こうして夢が実現できたのも

この経験があったからだと思っています。

家づくりは、施主さんの想いをじっくり聞くことから始まり、その人の趣味嗜好、ライフスタイルに合った家を少しずつ、一緒になってつくり上げていきます。時間をかける分、家が完成したときには、施主さんの家族の一員になったように喜びを共有できますし、お子さんが新しい家で笑顔で遊んでいるのを見ると最高にうれしいですね。建物は社会にとっても重要なインフラの一つです。今後もまちのため、子どもたちのために建物をつくり続けたいと思います。



インテリアや会計を担当する妻里紗さん(左)と大垣優太さん



U 設計室代表・一級建築士

大垣 優太 さん (33歳・網野町)